

ロケ撮影における新型コロナウイルス感染予防対策チェックリスト

[つくばみらいフィルムコミッション]

所属会社名及び所属先住所：

撮影現場責任者及び連絡先：

作品名：

撮影場所：

撮影日：令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日

1 承認事項

- 国や、自治体からのロケの自粛要請（対象：茨城県又はロケ隊の拠点となる都道府県）が出た場合、ロケ等の活動を全て中止し、国・県の指示に従います。
- 撮影終了後に、関係者の感染が判明した場合には、つくばみらい市（つくばみらいFC）及び施設管理者に速やかに情報提供します。
- トイレや控室等を使用する場合は、施設管理者の指示に従い、撤収の際は、アルコール消毒等を行います。

2 ロケ、ロケハン等での対応確認

制（製）作側で新型コロナウイルス感染対策用のガイドラインを設けている場合は、本票を提出する前にお示しください。内容に相違ある場合は、確認してその結果を反映させていただく場合がございます。

(1) 事前対策

- 感染対策のための消毒等を行う専属の衛生管理者（係）を、撮影現場に配置する。
- 撮影期間中、撮影関係者に、発熱・咳・下痢等の症状がある者、新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある者、同居家族や身近な知人の感染が疑われる者及び過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航並びに当該国・地域の在住者との濃厚接触がある者がいる場合、その者は従事させない。
- ロケ撮影に携わる撮影関係者の撮影2週間前までの行動記録を確認・管理している。
- 撮影関係者（エキストラを含む）が撮影期間中に必要なマスク、手袋、消毒液等の用意ができている。
- 厚生労働省及び保健所等が定める予防対策の確認を済ませている。

(2) 撮影現場において

- 撮影現場では、社会的距離（2メートルを目安に（最低でも1メートル））を、可能な限り確保する。
- 撮影関係者の人数を最小限にするべく、ワークフローの最適化や撮影手法の工夫を行う。
- マスク着用や手洗いを徹底する。
- 撮影関係者の検温結果を毎日確認し、異常が認められた場合はFCに連絡する。
- ロケ地管理者が定めているロケ現場の消毒を徹底する。
- ロケ撮影における車両での移動は、1台における乗車人数を最小限にする等社会的距離を確保するための感染防止対策を講じる。また、必ず換気を行いながら移動する。
- 全ての飲食は、ペットボトルや弁当などあらかじめパッケージ化されたものを提供する。
- 食事を扱う従事者は、食事の都度、事前に手洗いや手指消毒を済ませ、マスクと手袋を着用する。
- 清掃やゴミは、衛生管理者（係）の指導の下、撮影地のルールに従い、マスクや手袋を着用して処分する。終了後は手洗いを徹底する。
- ロケ撮影の際、通行人や見学者が密にならないよう対策（例：注意喚起の文字看板を設置する等）を講じる。
- 撮影後は、事前にロケ地管理者と協議の上、制（製）作者の責任において、撮影現場の消毒を行う。

(3) 感染が疑われた場合の対処

- 撮影中に関係者に感染が疑われる者が発生した場合、直ちに隔離を行い、必要に応じて直ちに帰宅させ、自宅待機とする。また、共有した物等を消毒するとともに、必ずFCへ連絡する。
- 自宅で療養することとなった者は、毎日健康状態を確認し、症状が改善してから最低48時間の経過期を経るまでは撮影に参加させない。
- 撮影関係者の感染が確認された場合、直ちに撮影を中断し、保健所等の指導に従う。